

リハビリ 1 単位カウント早見表

移動・中断・19分問題を「直接的なりハ提供時間」で整理する

患者ID		評価日	
担当者		場所	

判定軸：患者への直接的なりハ提供時間か

- 単なる搬送・準備・記録ではない
- 訓練目的と介入内容を説明できる
- 中断・待機は理由と時間を分けて残す

1 単位の開始・終了

開始：実際に訓練提供を始めた時点

終了：訓練提供を終えた時点

搬送・準備・記録だけの時間は分けて考える

含む？含めない？状況依存？

場面	扱い	実務整理
車椅子搬送のみ	含めない寄り	単純搬送として整理。訓練内容がなければ単位時間に入れない。
歩行訓練を兼ねる移動	含み得る	歩行練習・介助量調整・安全確認を行うなら訓練として説明しやすい。
スタッフ単独移動	含めない	患者不在の移動。病棟間移動や機器を取りに行く時間は別扱い。
機器準備・環境調整	含めない寄り	準備行為。訓練中の姿勢調整や課題設定とは分けて記録する。
トイレ・検査待ち・休憩	状況依存	中断時間は原則分ける。状態観察や訓練継続性を記録に残す。

19分しか入っていない場合

- 直接的な訓練提供が20分未満なら、1単位として扱えるか慎重に確認。
- 搬送・記録・待機を足して20分にすると整理は避ける。
- 理由：中断・拒否・体調変化などを簡潔に残す。

21分以上介入した場合

- 21分以上でも、途中中断や待機を含めていないか確認。
- 実介入時間と中断時間を分けて説明できる記録にする。
- 次回：同じ問題を避ける調整点を1つ残す。

記録に残すポイント

項目	記録の視点
開始・終了	実際に訓練提供を開始/終了した時点を明確にする
除外した時間	搬送・待機・準備・記録などを訓練時間と混ぜない
中断理由	血圧低下、疼痛、拒否、トイレ、検査待ちなどを簡潔に残す

自施設の運用メモ・確認事項
